

平成 16 年 11 月 4 日

新宿区長

法人名 特定非営利活動法人
全国日本語教師会
所在地 新宿区新宿2-15-22 S2ビル7F
(フリガナ) イイ ヤリ
代表者氏名 石井 保則

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	日本語教師を養成するための講座の実施
実施日時又は期間	平成16年10月12日～10月21日 14:00～16:00 全6回 会場:教育情報研究所
対象者の範囲及び人数	国際交流、日本語教育に興味がある方 参加人員8名
事業内容	ボランティア日本語教室で教える日本語教師の育成するための講座 日本語教育・多文化共生のまちづくりの啓蒙・啓発
具体的な活動状況	<ul style="list-style-type: none">・ インターネット、チラシの配布(図書館・地域センター・社会教育会館・区民センターへの設置)・ ボランティア団体・学校・国際交流団体への告知・ 講座内容<ol style="list-style-type: none">1・日本語教師とは?2・あいうえお～こそあど3・名詞文から動詞文4・助詞の教え方5・演習6・期待される日本語教師像

第9号様式（第19条関係）

事業の成果	日本語教師には興味があったが踏み出せなかった方、既に日本語教師として活躍されている方、元学校の先生など8名の方が参加されました。「なぜ日本語教育が必要なのか。」「日本語教師は誰でも出来るのか。」「どのように勉強すれば良いか」などを中心に講座をすすめました。現在、ボランティアでは誰でも日本語を教えることが出来ますが、受講した方がこの講座をヒントに更に勉強してボランティア団体等で活躍していただければ良いと思います。
-------	---

2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示して下さい。

1万円以上のものについては、原則として領収書（写し可）を添付して下さい。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			53,161 円
	参加費・資料代等	参加費@6000×8名		48,000 円
	その他の収入			円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		100,000 円
	計			201,161 円
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	30,040 円	教室使用料@4,200×7回 = 29,400 資料コピー代@80×8名 = 640	
	宣伝費	20,000 円	チラシ印刷代@4×5,000枚	
	リース費	円		
	消耗品費	3,521 円	紙代（5000枚）2,570 円 封筒(200枚)951 円	
	謝礼	73,500 円	講謝料@10,500×7	
	材料費	28,800 円	教材費@2,550×8名 = 20,400 @1,050×8名 = 8,400	
	交通費	9,000 円	講師交通費 1,560×3回 1,080 円×4回	

第9号様式（第19条関係）

	その他諸経費	36,300 円	郵送料@50×500 @100×113
助成対象事業費（小計）		201,161 円	
残 余 金		0 円	
助成対象外事業費		0 円	
事 業 総 額			201,161 円

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	日本語教育を広く一般の方々に知ってもらうことが課題でしたが、既に日本語教育について勉強しているの方々が多く参加されました。一步を踏み出す手助けになったとは思いますが、更に多くの方々が興味をもつ様な広報活動ができれば良かったと思います。
新たに気づいた課題は何か。	日本語教育に関心がなかった方々に興味をもっていただくこと。『「日本語」を話せる特技を活かしたボランティア』など誰でも参加しやすい講座ができれば良いと思います。
理解者や支援者が広がったか。	参加して頂いた方には、理解していただけたと思いますが、更に交流会などを開催して理解者、支援者を広げていきたいと思っています。
事務局の執行体制は十分だったか。	体制は十分だったと思いますが、計画から実施までの時間が短かったと思います。
その他	

4 活動の成果

これまでの日本語教育は、留学生や日本語教育施設で学ぶ者など、専門的な日本語教育を受ける者を学習者対象とされてきました。近年、ニューカマー、配偶者、子どもなど地域に居住する外国人が増加していて、ボランティアの日本語教育の重要性が増してきています。

この講座で数多くの方々に日本語教育に関心をもっていただき日本語教育に携わっていただければと思いますが、反響は多くはありませんでした。今後、認知活動を継続的にすすめていきたいと思っております。

受講した方々は、既に関心があり各地域のボランティア団体に登録し日本語教育活動をしていくとは思いますが、成果がすぐでるものではありません。更に多くの方々に関心をもってもらいボランティア活動を充実していただきたいと思っております。